



2学期を終えて

本当に早いもので、2学期も月曜日の終業式を残すのみとなりました。保護者の皆様・地域の皆様に支えていただいたお陰で体育大会、図工展、マラソン大会などの大きな行事も計画通り、目的通りに実施できました。ありがとうございました。

さて、子どもたちは、この2学期、行事はもちろん様々な体験を通してたくさんのことを学び、1学期にも増して心も体も大きく成長しました。学校全体では「あいさつ」を自分から元気よくする子どもたちが格段に増えました。靴箱の上靴や外靴をきちっと「そろえる」子どもも格段に増えました。クラス全員で音楽室や図工室、体育館などへ移動するときも授業中である他のクラスや保健室で休んでいる人のことなど、他者のことを考えて、「**並んで静かに移動できる**」クラスも増えました。このことはいざというときにさっと全員が避難できる、また、遠足など校外へ出たときに一般の人たちに迷惑をかけないで歩くことにもつながります。3学期も引き続きこの3点についてはしっかりと取り組んでいきたいと思います。

学校は、子どもたちが日々の生活の中で、自分の前に立ちはだかるいろいろな課題というハードルをどのように乗り越えればいいのかを学ぶ場です。このハードルには、学習はもちろん人間関係も含まれます。成功すること、うまくいくことはもちろん素晴らしいことですが、人生経験の少ない子どもたちにとって**失敗すること、うまくいかないことも大切な経験です。結果だけを見て失敗したこと、うまくいかないことを悲観するのではなく「あなたはとてもいい経験ができたのだから、次はこの経験を生かして、またチャレンジしてみたら？」と、失敗経験の大切さを伝え、励ましてあげることが子どもにとって、次の一歩を踏み出す確かな原動力になります。**終業式の日に子どもたちに手渡す「あゆみ」も、そうした「**次の一歩を踏み出す原動力**」でありたいと思います。

26日から14日間の冬休みに入ります。2学期も、本校の教育推進にあたりまして多大なご理解ご支援を賜りましたことに感謝申し上げます。どうぞご家族でよいお年をお迎えください。そして、**3学期の始業式（1月9日）には子どもたち全員が元気な姿で登校してくれることを何よりも願っています。**